

ソレイユさがみ 新着 図書・DVD NEWS
ソレイユ ブックレビュー

〔発行・お問い合わせ先〕

相模原市立男女共同参画推進センター
(ソレイユさがみ) 情報委員会

《指定管理者 特定非営利活動法人

男女共同参画さがみはら》

〒252-0143 相模原市緑区橋本 6-2-1

TEL 042-775-1775 FAX 042-775-1776

<http://www.soleilsagami.jp/>

桜美林大学学生号(特別号) 2023.1.15

私たちは桜美林大学で「地域サービスラーニング(性別と社会)」という授業を履修している学生です。10月からソレイユさがみのインターン生として講座や講演会に参加し、また大学の授業でジェンダーやセクシュアリティについて学んできました。今号では、新刊図書の中から私たちが選んだ図書について学生目線で紹介をさせていただきます。

『マジョリティ男性にとってまっとうさとは何か #Me Tooに加われない男たち』

杉田 俊介 集英社 (2021年)

<紹介文>

「女らしさ」というのは何なのだろう。私たちはよく女性差別に対するニュースを目にするためこのように考えがちです。また差別を受ける対象は女性だけだと思ってしまう人もいるかもしれません。しかしその認識は本当に正しいのでしょうか。

「女らしさ」が存在するのであれば「男らしさ」という点で苦しんでいる人もいます。そういった問題に対して本書では学術的な視点からではなく、アマチュア的な視点から捉えた本となっているため、抵抗感がなく読めます。また映画という身近な媒体から読み取れるジェンダー的視点もあるため、初心者の方でも手に取りやすい一冊となっています。



<選書理由>

私は中学高校と合わせて6年間男子校で過ごしてきたため「マジョリティ男性にとってまっとうさとは何か」という題名に惹かれました。そして男子校時代を過ごした私にとって「男らしさ」というのは常に身近に転がっていたものでした。そのため今まで周りに転がっていたものを、俯瞰的に捉えてみたいと思い、本書を選びました。

(大塚)

桜美林大学学生号(特別号)の刊行にあたって

この桜美林大学学生号(特別号)は、年に1回発行しており、今年で5回目となりました。

当初は、「地域社会参加(性別で差別しない社会)」という授業を履修していた学生がジェンダー問題(男性、女性、LGBTs等)について、学生自ら選書し紹介文を、3回目からは選書理由も一緒に掲載しておりました。

昨年度からは、「地域サービスラーニング(性別と社会)」の授業を履修している学生をソレイユさがみがインターンシップ実習生として受け入れ、実習を行った学生が選書し、記事を書いています。

毎年この図書紹介は、ブックレビューを発行している情報委員会委員も大変勉強になると感想を寄せています。

今後とも、引き続き学生号を発行していただけるよう、委員一同願っています。



『女の子の謎を解く』

三宅 香帆 笠間書院 (2021年)

<紹介文>

この本は、ドラマや映画、小説にアニメなど様々な作品に登場する女性キャラクターについて様々な観点から紹介しています。なぜジブリは女の子が主人公の物語が多いのか、娘の結婚が題材になっていた過去の作品など、過去から現在に至る特徴をわかりやすい文章でまとめています。

著者のまえがきにあるように今まで男性の批評家が多く、女性キャラクターに焦点を当てた批評が少ないという現状があり、著者自身がヒロインについて新たな言葉を紡いでいます。女性のケア役割の問題や産む性に対する疑問など、それぞれの作品が訴えるメッセージを受け取ることができ、知っている作品について新たな読み方が可能になる興味深い本です。



<選書理由>

この本では昔の作品から最近の作品まで、多くの人気作品が紹介されています。馴染みのある物語を通すことで、社会問題や時代ごとの思想に分かりやすく触れることができます。また今まで批評を読む機会が少なかった人に対しても、理解しやすい文章で初めて読む本としては最適だと考えました。あっという間に読み終わり、物語の見方が変わる本だと思い選びました。

(小池)

『お嬢さんと嘘と男たちのデス・ロード ジェンダー・フェミニズム批評入門』

北村 紗衣 文藝春秋出版 (2022年)

<紹介文>

フェミニズムって何だろう。なんか専門的で難しそうだな。こんなイメージありませんか？しかし、意外とフェミニズムって身近なことから考えることができます。

本書では、「フェミニズムの鍵」と称して、映画や文学作品を通して著者のフェミニズムの批判的考えに触れることができます。また、この本では男性についても触れられていて、フェミニズムの考え方の多様性を短い文章で簡潔に理解することができます。マリリン・モンローからアナと雪の女王まで様々な年代、ジャンルの作品と、著者の批判的なわかりやすい文章でサクサク読み進めることができます。



<選書理由>

私は、フェミニズム初心者です。フェミニズムに興味があるけど批判的に考えることのハードルの高さを感じていた私が出会ったのがこの本です。知っている作品についてならこういう見方ができるんだと思い、知らない作品についてならこういう視点で見ようと思いながら読むことができます。この本を読んでから興味を持った作品を見てみることをお勧めします。

(長澤)